

### 3 新しい成熟都市をめざす施策の方向性

新しい成熟社会に向けての大きな潮流を踏まえ、10年程度先を見据えて進める主要な施策の方向性を示します。

#### (1) 子どもの成長と子育ての総合的な支援

地域社会を支える子育て世代が住みやすいまちづくりを進めます。仕事と生活のバランスがとれ、安心して子どもを産み育てられる環境を整え、子どもたちが健やかに成長できるよう教育を充実します。

多様なライフスタイルや働き方、子育ての希望に対応できるよう、すべての子どもたちを視野に入れた総合的な子育て支援策を充実します。これまで別々の制度になっていた保育や教育にかかる事業を再構築し、個々のニーズにあったきめ細かいサービスを提供できるようにします。

夢や目標をもち、困難を乗り越える力を備えた子どもを育むため、家庭・学校・地域と行政が力を合わせて練馬の教育を充実します。

#### (2) 安心して生活できる福祉・医療の充実

だれもが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域社会での見守りと支え合いの体制や、一人ひとりにあった支援を受けられる仕組みを構築します。

団塊の世代が全て75歳以上となる平成37年に向け、さらにはその後も続く高齢化を見据え、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを確立します。

障害者の個々の状況に合わせて、就労や住まいなど地域生活を支援するサービスを充実します。

区内の病床を増やし、急性期から在宅まで切れ目のない医療を受けられる医療環境を整えます。

#### (3) 安全・快適な都市の実現に向けた基盤整備

鉄道や道路の整備、木造住宅密集地域の改善など、練馬区の都市基盤の課題を克服し、さらにみどり豊かで安全・快適な住宅都市をめざして着実にまちづくりを進めます。

快適な都市環境を創出するものとして、鉄道や道路の交通ネットワークを整備します。

建築物の耐震化や不燃化、木造住宅密集地域の改善、水害対策の強化を進めます。あわせて、区民防災組織を中心に区民による防災への取組を支援し、安全で災害に強いまちを形成します。

地域の特性にあわせて、区民生活の拠点となる区内各駅周辺の交通結節機能、生活利便機能、都市景観機能を高めます。

地域特性にふさわしい自立分散型のエネルギー社会をめざします。

#### (4) 練馬区の魅力を楽しめるまちづくり

練馬区は、公園や農地などまちのみどりの豊かさと都市生活の利便性が両立しているところに特長があります。それをさらに活かして、多彩な魅力を楽しめるまちづくりを進めます。

地域特性を活かした中小企業の活性化と魅力ある商店街づくりを推進します。

練馬区の魅力である都市農業の振興と、多面的機能をもつ都市農地の保全に取り組みます。

樹林地など民有のみどりの保全、魅力ある公園の整備により、さらにみどり豊かな練馬を実現します。

風を感じながら、自然と文化が織りなす練馬区の多彩な魅力を「まち歩き」「ポタリング」( )を通して体感できる仕組みづくりに取り組みます。

ポタリング... 自転車で散策すること。「ぶらぶらする」という意味の英語から来ています。

#### (5) ビジョンの実現のために

区民・区議会とともに区政を拓く

新しい成熟都市を実現するために、区政や地域の情報を積極的にわかりやすく発信し、区政への関心を高め、区政の窓を大きく開きます。区議会と連携しながら、広範な区民の力を活かし、事業者をはじめ区内の多様な活動主体と協働します。

新たな区政の創造

ビジョンの実現に向けて、既成概念にとらわれず、制度や組織の壁を超えて不断に改革に取り組み、職員の力を結集して新たな区政を創造します。